

とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8 - 3 - 3 - 201 電話 090 (1201) 1297
 携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



南千住駅東口発～スカイツリー経由～ 錦糸町駅行 都バス発車 3月30日

東京都交通局によると、現在運行している南千住駅東口からの亀戸駅行きを廃止し、新たにスカイツリー経由錦糸町駅行のバスを運行すると発表しました。一日の運行は少ないものの、リハビリテーション病院や百花園、曳舟文化センターなどを経由しての路線となりますので利用客にとっては使い勝手のよい方も出るのではないのでしょうか。但し、この路線も亀戸行と同じように、あくまでも試験的な路線に位置づけられているので、一日の乗降者が少ないといずれは打ち切りとなります



この路線を推進して来た私達にとっては、一人でも多くの利用が増える事を願います。南千住駅東口～第三中学校前までは上野広小路行きと同じ停留所～白髭橋～曳舟文化センター～トウキョウスカイツリー～錦糸町駅

時刻表-錦糸町駅行

時刻	平日	土曜	休日	時刻	平日	土曜	休日
6	5 0	5 0		12時	5 0	2 2	5
7	3 5			13		5 1	0
8	2 5	1 7		14	3 0	4 3	5 5
9	2 0	0 5 0	0 5 5	15			4 5
10	5	3 0	3 5	16	0	1 5	2 5
11	0		2 5	17	4 5	4 5	2 0

荒川区介護保険料値下げ 23区初 23区最高額1位から12位に下げる

		年 額	値下げ額/年	月 額
第1段階	老齢福祉年金・生活保護 世帯非課税・80万円以下世帯	3万1256	712円	2,605
第2段階	世帯非課税・120万円以下世帯	4万7564	1,084円	3,963
第3段階	世帯非課税・上記以外	5万961	1,167円	4,247
第4段階	本人非課税・世帯に課税者80万円以下	5万7756	1,320円	4,813
第5段階	本人非課税・世帯に課税者第4段階以外	6万7948	1,556円	5,662
第6段階	合計所得金額125万円未満	7万4743	1,709円	6,228
第7段階	合計所得金額125万円～200万円	8万8332	2,028円	7,361
第8段階	合計所得金額200万円～350万円	10万1922	2,334円	8,493
第9段階	合計所得金額350万円～500万円	12万2306	2,806円	1万192
第10段階	合計所得金額500万円～750万円	14万9486	3,418円	1万2456
第11段階	合計所得金額750万円～1000万円	18万3460	4,196円	1万5287
第12段階	合計所得金額1000万円～1500万円	21万639	4,821円	1万7552
第13段階	合計所得金額1500万円～2000万円	21万4036	4,904円	1万7835
第14段階	合計所得金額2,000万円以上	21万7434	4,974円	1万8118

上記保険料は目安です。問い合わせは 3802 3111 内線 2441～2443
7月初めに納付書が届きます。3月までの9か月で割った金額が年金から天引になります

区役所1階の椅子を交換 3月26日から 読者の声が生きる

読者から区役所へ書類を取に行ったが、椅子が大分汚れています。との声をいただき早速、担当者に連絡。3月26日から新しい物と交換を始めました。今後も皆さんの声を生かしてまいります。



習志野駐屯地桜まつりに行こう パラシュート部隊降下演習 他

日 時 4月5日《日》

時 間 10時～15時

出 店 パレード、降下訓練展示、野
外売店、装備品展示、空挺館一般開放

乗 物 新京成 北習志野駅からバス

約20分 バス停「自衛隊前」下車

お問合せ：第1空挺団 広報班

047-466-2141（代表）

〒274-0077 千葉県船橋市薬円台3-20

参考時刻表

南千住駅 8:32 松戸 8:50 北習志野 9:23

（JR） （新京成）

日暮里駅 8:39 - 津田沼 9:19 - 北習志野 9:29

（京成） （新京成）



第12回 尾久の原しだれ桜祭り実施

日時 4月4日（土）

10時～15時

雨天 5日（日）に順延

会場 都電・熊野前

模擬店など多数出店



恒例浅草・流鏝馬（やぶさめ）・草鹿（くさじし）まつり開催

日 時 27年4月18日【土】

午前11時～2時30分

会 場 隅田公園内

言問橋～東武鉄橋間



荒川区も俳句の町に 芭蕉・一茶が詠み、子規が通った町

俳句を習わない人でも俳句の代名詞と言われている、正岡子規の詠んだ「柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺」や芭蕉の「古池や 蛙飛び込む 水の音」はご存じではないでしょうか。今まで荒川区は歴史的に著名な方々と縁があるにも関わらず前面に出して PR をしてきませんでした。近年、自民党の肝いりで観光文化特別委員会を設置し、西川区長になってから荒川区内の観光にも力をいれるようになりました。

《正岡子規との関わり》子規は今から 150 年前【1867 年】に四国の松山で生を受け、明治 16 年 20 歳の時に荒川区にある開成高校に通います。翌年には鶯谷駅近くの（根岸 2 丁目・写真右）現在の子規庵の長屋に住まいし、俳句や短歌の勉強を始めます。この長屋に程近い所に有名な羽二重団子があり、しばしば此処の団子を食べて来たといわれています。そこで詠んだ句が「芋坂も 団子も月の ゆかりかな」



《小林一茶との関わり》「雀の子 そこのけそこのけ お馬が通る」等を読んだ江戸末期に活躍した俳人・小林一茶は今から 250 年前（1763 年）に長野県信濃町に生まれ 14 歳で江戸に出て、25 歳で俳諧を学びました。この時代に一茶は日暮里駅北口前にある「本行寺」【別名・月見寺】に度々この寺に通います。当時ここの住職は俳人でもあった



ので一茶との交流もありました。この寺で詠んだ句に「青い田の、露をさかなや、ひとり酒」があります。余談ですが、この寺の隣の蕎麦屋「川むら」の味は評判とか。

《芭蕉との関わり》芭蕉と荒川区の関わりについては、2 月号でも紹介したように「奥の細道」の矢立始めの句（最初の一句）「行く春や 鳥啼魚の 目に泪」を詠んだと言われています。3 月 4 日には南千住駅西口前で芭蕉像の除幕式も行われました。現在、芭蕉に関わる自治体が全国に 32 ありますが今年は荒川区が幹事区となって 3 月 14 日「芭蕉サミット」を開催しました。

